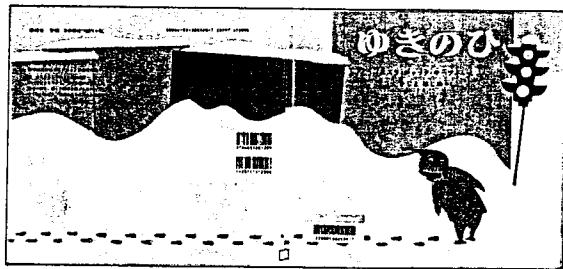


子どもたちといっしょに



「ゆきのひ」

エズラ=ジャック=キーツ ぶん・え
きじま はじめ めく (偕成社)

冬のある朝、ピーターが起きてみると、窓の外には一面に雪が積もっていた。ピーターはごはんを食べてから、さっそく外へ出て

雪遊びをします。

子どもの頃、みなさんは雪でどんな遊びをしましたか。雪合戦はもちろん、スキーやそりをしたり、ゆきだるまやかまくらを作ったり、しみわたりをしたり、雪の上に寝て人型を作ったり、いろいろな遊びをしたと思います。私たちが小さい頃そうだったように、今の子どもたちも、いつもとちよと違った物や出来事があると、そこから無限の想像力を働かせます。降り積もった雪一つで、あれだけの楽しい遊びを思いつくのですから。

切り紙を使った絵は「ゆきのひ」なの(に温かみさえ感じます。

♪ コキヤコッコ アラレヤコッコ フツッパ フツッパ ズンズンツメル ヤマモノハラモ ワラボウシカブリ カレキコラズ ハナガサク ♪♪♪



第62回読書会 「床下の小人たち」 ×アリー・ノートン 作 林 容吉 訳 (岩波書店)
日時 12月(8日(日) 午後1:30~3:30
場所 白根学習館 ルーム2 (しろね図書館友の会 共催)

家の中の物がいつの間になくなっていたら……もしかしたら、あなたの家にも小人が住みついているのかもしれない。でも、きっと小人たちは臆病なので捜さないでくださいね。

♪♪♪ コキヤコッコ アラレヤコッコ フツッパ フツッパ マダフリヤマヌ イヌハヨロゴビ ニワカクマワリ ネコハコタツヂ マルクナル ♪

12月の行事 ブックバス

1 (木)	白根中 鹿瀬地C 鹿瀬小	12:55~13:35 14:00~14:40 15:00~15:45	17 (土)	クリスマスおはなし大会 みんな、ぜひきてね! 2:00~
2 (金)	白井小 白井中	12:55~13:35 14:00~15:30	18 (日)	第62回読書会 1:30~
3 (土)	おはなし会 3:00~	大通地C 14:30~15:00 根岸農公 15:30~16:00	21 (水)	絵本のじかん 3:00~
4 (日)	第7回おはなし講習会 (実習1) 1:30~		24 (土)	おはなしがど例会 10:00~ おはなし会 3:00~
7 (水)	絵本のじかん 3:00~		28 (水)	絵本のじかん 3:00~
10 (土)	おはなしがど例会 10:00~ おはなし会 3:00~		29 (木)	~ 1/4 年末年始の休館日
11 (日)	第7回おはなし講習会 (実習2) 1:30~			2006 あけましておめでとうございませう HAPPY NEW YEAR!
14 (水)	第32回おはなし会 絵本のじかん 3:00~		5 (木)	10:00から 開館します



しろね図書館だより

発行 新潟市立白根図書館
平成 17年12月1日

No. 67

もう、一年の最後の月になりました。月日がたつのは本当に早いものです。もうすぐ雪も降ります。草木も動物も眠りにつくのに人間だけは忙しくしているのはなぜでしょう。しろね図書館でも12月のイベントとして「クリスマスおはなし大会」が待っています。忙しいかもしれませんが楽しいおはなしを聞きにぜひおいでください。

十二月のうた

萩木のり子

熊はもつ眠りました
栗鼠もうつらうつら
土も樹木も
大きな休息に入りました
ふっ
思い出したように
声のない子守唄
それは粉雪 ぼたん雪
師も走る
などと言って
人間だけが思つくひまなく
動きまわり
忙しさとひきかえに
大切なものさ
ぽとぽとと 落としてゆきます

萩木のり子詩集
「落ちこぼれ」
(理論社)

<Y911イ>

11月の

来館者 ----- 16,572人 (34人合) (視察・見学)
貸出冊数 ---- 14,713冊
予約件数 ---- 188件

ブックバス利用者 ----- 416人
ブックバス貸出冊数 ---- 1,012冊

リクエスト情報 (しばらくお待ち下さい)

- 1位・告白 (8名)
- 2位・東京タワー (6名)
- 3位・電車男
ハリポッターと不死鳥の騎士団 (3名)
- 5位・孤宿の人 上下
てのひらの迷路 他 (2名)

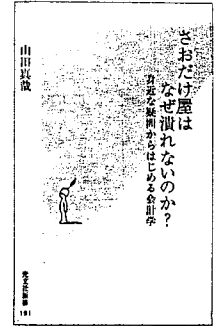
年末年始の休館日のお知らせ

しろね図書館は12月29日(木)~1月4日(木)まで休館させていただきます。それとともな、12月15日(木)~12月28日(木)まで通常の倍16冊まで4週間借りられます。この期間にぜひ、たくさんのご利用をお待ちしております。

さおだけ屋は なぜ潰れないのか？

身近な疑問からはじめる会計学

山田真哉 著 光文社
(一般 336 や)



この本のタイトル「さおだけ屋はなぜ潰れないのか？」に引き込まれ読んでみました。内容は、さおだけ屋はなぜ潰れないのか？、ベットタウンに高級フランス料理店の謎、在庫だらけの自然食品店、完売したのに怒られた！、トップを逃して満足するギャンブラー、あの人はなぜいつもワリカンの支払い役になるのか？、数字に弱くても「数学のセンス」があればいいという7つのエピソードで構成されています。作者の言いたいことはサブタイトルの身近な疑問からはじめる会計学ということで、会計学で使う専門用語を、さおだけ屋等上記のいくつかのエピソードの例え話で解説しており、むずかしい言葉については注釈がまとめて書かれわかりやすく説明されています。会計学を学ぶというよりも、実生活の中で損をしないために知っておくべき一般常識が理解出来ます。

会計にまったく縁のないひと、会計学に興味を持つきっかけになるといいとの作者の意図がうかがえます。ぜひ一読下さい。

(星 島 等)

クリスマスおはなし大会

今年もサンタさんがやってくる！！

とき 12月17日(土) ご2時から
ばしょ しろね図書館おはなしのへや

- 1回目 2:00～2:30 …… 小さい子向け
- 2回目 2:30～3:00 …… 小さい子向け
- 3回目 3:00～3:30 …… 小学生から(整理券必要)
- 4回目 3:30～4:00 …… 小学生から(整理券必要)

★整理券は、当日のご2:00から図書館のカウンターで配ります。



第61回 読書会

平成17年11月20日(日)

午後1時半～3時

参加者 7名

「ふたりのロッテ」

エーリヒ・ケストナー作

(岩波書店)

お互いに双子の姉妹がいるとは知らずに買ったロッテとルイーゼ。そんな二人が偶然に出会ったら・・・

■ 双子の当人たちの話を聞いたりして、外見がそっくりでも個々で全く違う。それでも、一方が病気になるればもう一方も、なんている不思議なつながり。双子の話という事で楽しんで読めた。

■ ケストナーの作品を読むのは初めてだった。子どもながらの発想で話が展開するので、もし子どもの時に読んでいたら絶対に今よりもっと面白いただろうと何度も思った。姉妹が休暇後に入替わる所は、あまりにも大胆で周りに気づかれないのかと心配した。実際に双子の子達と親しくしていると最初

は見分けられなくても、ちゃんとそれぞれが分かるようになる。でも、ここでは休暇後の子どもの変化・成長と周りは納得してしまいましたけど。

■ 双子という二人の間だけではなくて、人間の二面性という見方もあるのかなと思えました。

■ 子どもの本とはいっても、大人になった今だから色々な方向から読めたりする。例えば、母と父が色々すんだ今だからこそまたやり直すことができるか話す所は、そんな風に思えるものかなと思った。

■ 2回目のケストナーの作品だったので、すんなりと入り込めてドキドキしながら楽しめた。お父さんは再婚を考える素敵な女性がいなのに、子どもの危機から一変して子どもを想う素敵な父になってしまふ所がいい。子どもの力で別れた夫婦は元に戻るこができたというのが良かった。中学生にもすすめてみようかな。

■ 母親は子どもを小さな主婦にしてみました。母親がそれに気づいたときの、反省の言葉が良かった。いつだって子どもの存在は大きく、子ども達の願いは大人に届くよと作者は言いたいのだろうと思った。

次回の読書会は

12月18日(日) 午後1時半～

『床下の小人たち』

メアリー・ノートン作

(岩波書店)

本はカウンターで貸出しています。
(大野恵子)

❖❖読書会ってなんだろう❖❖

参加する人が同じ本を読んで、その本についてあれこれアレコレ話合います。むずかしい事はなく、ただ読後感を述べるだけでいいのです。他の人が面白かった所や、気になった所をきくだけで素敵な時間になったりします。さまざまなジャンルを大勢の方と読んでみる事は楽しいですよ。参加してみませんか？